

## 第2回酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会 議事概要

開催日時：令和4年3月24日（木）10：00～11：45

開催場所：酒田市民会館「希望ホール」3階 小ホール

### 1 開会

事務局:阿部	開会あいさつ。 欠席委員及びリモート参加委員の報告。 (欠席：田中委員長、北野委員 リモート参加：荒木委員) リモート参加に関する説明。
--------	---

### 2 教育長あいさつ

鈴木教育長	残り1年、新型コロナウイルス感染症拡大の中で仕上げていくことになる。よろしくお願ひしたい。今回は第3章まで協議頂き、素案の形でまとめさせていただいた。本日は引き続き第4～5章、現状と課題、大綱・基本方針を中心にご意見を頂きたい。
-------	--

### 3 協議事項

事務局:阿部	本日、田中委員長が欠席のため、設置要綱第4条により、清野副委員長に議事進行をお願いする。
事務局:川島	事務局より今後のスケジュールを再確認。

#### (1) 史跡 山居倉庫の現状と課題について

事務局:川島	事務局より資料説明。 山居倉庫の現地確認を経て課題となることをご教示いただきたい。
平山委員	色々な建物があるが、倉庫が12棟あることが歴史的価値が高い。近年の文化財は保存だけでなく、未来に伝えるためには使っていかなければならないので活用することがいわれている。11・12号棟は観光施設、1号棟は見学施設として活用され、2～10号棟は現在米が保管されている。中は広い空間で、改造は少ない。外観がなるべく保たれるような形で内部を活用できればよいのではないか。内部は米を低温保存するためにウレタン吹付などで改修されている。剥がしてもよいし、歴史的な経過の一つとして剥がさずに性能を活かした形としてそのまま使ってもよい。そういったことも含めてうまく活用していければよいのではないかと。但し、内部の作り方は今後考えていかなければならない。
事務局:川島	活用については次回以降の委員会で方向を決めていきたい。
清野委員	素案23頁 (2)構成要素の分類 ①本質的価値を構成する諸要素 「昭和14年の～本質的価値と位置付ける」とあるが、それ以降の改変もあって現在の姿になっている。現状のままで保存するのか、昭和14年以

	<p>前の姿にもどしていくのか検討頂きたい。</p> <p>素案21頁 (2) 歴史的価値 ② 山居倉庫の建設へ</p> <p>「本間家をはじめとする～設立され」とあるが、表現に疑問が残る。明治17年に商人たちで設立しようとした米商会所があって、それが頓挫し、明治19年の出来事に繋がる。文言の検討・修正を。</p>
平山委員	<p>山居倉庫の基本は10月の米を翌年まで良い品質で保持することを目的とした倉庫。昭和14年まではそれがいかに高く売れるのかを目標があったが、配給制度で投機性がなくなったが、米の品質を保つための努力は現在に至るまでであるので、基準年をもう少し下げてもいいのではないか。</p>
事務局：川島	事務局で次回までに再検討・再整理する。
清野委員	<p>ここが確実でないと史跡の本質的価値の分類も変わってしまうので、よく検討をいただきたい。</p>
池田教育次長	<p>山居倉庫が国指定された理由として、また、整備計画を編んでいく上でも重要な点であると思う。次回までに再検討したい。</p>
河村委員	<p>現状と課題がハードに偏っている。活用に向けては、市民や来街者にとって、山居倉庫がどのように位置づけられていて、どういった課題があるのか整理する必要があるのではないか。</p>
池田教育次長	<p>地元に愛される山居倉庫として捉えていく。また、庁内の関係部課長会議で横断的に情報共有しながら、地元の景観として愛されていくための重要な視点として再検討したい。</p>
崎谷委員	<p>新しい山居倉庫の価値を生み出す観点も方針として考えなければいけない。山居倉庫の中だけで価値を高めようとするのは限界があり、周辺との関係性から価値を生み出していく観点が必要ではないか。周辺施設と関係性の結びつきの強いもの、例えば物流網などの現状把握など行われているか。</p>
池田教育次長	<p>山居倉庫が建設された明治時代中期以前、流通等は江戸時代を踏襲していたと考えられる。</p> <p>新井田川の対岸には酒田町奉行所跡がある。商業高校跡地は御蔵跡、庄内藩の米蔵があった。北側には倉庫群が並ぶ。新井田川が流通手段だったので舟運が発達し、川岸には米蔵が建ち並んだ。現在の酒田市の町並みは、最上義光による江戸初期の形を踏襲しており、1976年の酒田市大火を経ても変わりのない町割りを残している。酒田大火で奇跡的に罹災しなかった本間家旧本邸、旧鑑屋などが点在する。本町通り1の町から西端7の町まで、主に36人衆という自治組織を形づくる大店が居を構えた。ここから新井田川に下りてくるところには倉庫群や職人町があったと類推される。河岸八町といわれる小路で、山椒小路、稻荷小路、御宿小路、染屋小路など、古い小路名が残る。庄内藩は一国二城が許され、鶴岡城のほか、亀ヶ崎城跡が東高等学校の所にある。</p>

	<p>こういった歴史背景から山居倉庫の舟運が説明できるのではないかと考える。</p>
崎谷委員	<p>そういった観点からの課題があれば記載していただいて、課題を解消することで価値が生まれるような方針を立てられればと思う。今の話から思い浮かぶのは、交通ネットワークで、現代化していくにあたり、交通はスピードを求めて発展してきたと思う。山居倉庫の保存活用を見据えた時には、「遅い交通」というキーワードを頭に描きながら、舟運を含めて回遊性や滞在時間を高めることに資するような方針・計画が立てられればよいと思う。下敷きとなる骨格が、酒田の拠点をつなぐDNAを引き継いだもので構成されると良いし、再開発もうまく巻き込んで、山居倉庫の新しい価値として発信していければ良いと思う。</p>
井上委員	<p>今後の活用という部分で、エリアの再開発の拠点施設と理解してかまわないのか。山居倉庫だけを説明するのではなく、北前船や町並みの説明なども踏まえて活用していくのか。観光客が酒田に来たら、まずここに来て酒田のことを勉強してから、回遊していただくという位置づけという理解でよいか。</p>
池田教育次長	<p>指定を受けずに多様な活用することも検討したが、市長は開発的な活用では無くなってしまいかもしれない、姿形が変わってしまうかもしれないと懸念し、国の史跡として将来に残していくと結論づけた。</p> <p>今後、史跡の活用の段階で、何ができて、何ができないのかをしっかりと勉強させて頂き、市民が山居倉庫に親しめる環境を作っていきたいと考えている。</p>
清野委員	<p>現状と課題は色々な角度から検討する必要があり、議論を深めていただきたい。</p>
崎谷委員	<p>課題をたくさん挙げて頂いているが、上から3点ほど、クリティカルなものを教えていただきたい。</p>
事務局：阿部	<p>①建物の劣化調査と必要に応じた修復、耐震性の向上。</p> <p>②ケヤキ並木の樹勢回復。</p> <p>③複数ある建造物活用方法を検討する必要性がある。</p>
崎谷委員	<p>建物の劣化調査、耐震性能に対しては、色々手を入れなければいけない可能性がある。これらを行わずに活用する方法もあるが、建物の保存・活用は今後ウェイトを占めると想像できる。複数ある建物の順序だても今後議論できればと思う。ハードの課題、ソフトの課題の重点課題をいくつか並べ、レベルを上げて記載すると議論しやすいのではないかと。</p>
河村委員	<p>山居倉庫は庄内の米作を支えてきた、地域の生活を支えてきたシンボルと認識している。地域の方々がこの場をどう活用しているのか、または活用しきれていないのか、外来者にとっての現状と課題は何なのか、整理をしておかないと活用の打ち手がブレる可能性があると思う。</p>

池田教育次長	活用については、市民の関心があるところであると思う。6月に活用の協議を予定している。それまでに町並みの中の山居倉庫、市民が山居倉庫とどのように向き合っているのかなど確認して資料を提示したい。
平山委員	山居倉庫は「町の中」ではなく、正確には「町の隣」になる。大火は何回かあったが、ここには来なかった。新井田川を挟んであること、西側に密集地が無いことを考えると、米穀倉庫として選ばれるべくして選ばれた場所だったと思う。また、12棟の米倉庫が並ぶ風景は、市民は見慣れていても特異な風景と考えるべき。だから外来者が来る。風土と地域が必然的に生み出した建物であるべきだと思う。気象条件を考え、町の隣に建て、ケヤキを植えて西日を防ぎ、風通しを良くした。作られた当時は「山居の松原」と呼ばれ散歩にくる場所という意味合いもあり、町に隣接しながら自然にあり、親しまれる風景だった。山居倉庫があることによって、酒田が存在すると思った。地域と風土が溶け込みながら良好な環境を作っている。普段見ている方は当たり前だが、特殊な風景だということを外来者がわかるようにしたいと思う。
河村委員	生活の一部というよりも、シンボリックな存在価値を酒田の地域の中で更に上げていくという考え方もあると思った。
渡部委員	ケヤキは樹齢140年ほどでまだ若い。西日除けとともに防風林として植えられている。今は冷房設備があるため当初の使命を果たし、今は観光に役立っている。平成元年に設置した敷石のせいでケヤキの樹勢が落ちている。樹勢回復には少なくとも15年かかるのではないかと。また、28本の並木と一緒に措置をとることは大変で計画性が必要。ケヤキの根が倉庫に入っているのも課題。1年でも早く手当が必要で、まずは敷石を全て取る必要がある。樹間が適正より短いので、1/3ほど枝を落とすと良い。観光のことを考えると、1本置きに行く、または、神社を境に南北に分けて半分ずつ行うなど方法を考える必要がある。
崎谷委員	史跡の現状変更届を考えると3～5年先などになるのか。時間的な見直しは協議しておいてはどうか。
事務局：川島	ケヤキの樹勢回復については、公有化と整備計画ができる前に着手可能か文化庁と協議中。
清野委員	緊急な課題と思うので、スケジュール感をもってやっていただきたい。計画の中にもしっかりと位置付け、スケジュールも入れて、今後史跡をどのように保存・活用していくか示していただきたい。
宮崎委員	行政の立場として、まちづくりに資する拠点とあってほしい。大半の市民は、山居倉庫があつて当たり前、なくなるはずがないと思っている。何のために残すのか、なぜ国指定史跡にしたのか。これらを後世に残すために、子どもたちの世代に伝え、市民全体で守っていく共通認識を持つていくことが必要と考える。

山科委員	来訪者は多くいて、お土産屋はあるが、お金があまり落ちていない気がする。今後の活用を考える上で、お金を産むような仕組みが必要なのか。
池田教育次長	山居倉庫単体でできることではなく、酒田市街地全体で考えていきたい。酒田は3つのエリア（港町、亀ヶ崎の城下町、山居倉庫を含めた最上川に近い新しい町）に分けられる。港町の部分と山居倉庫を一体的に捉え、山居倉庫だけで解決できない課題は、町全体で検討する。商業高校跡地との連関や、国の補助金も活用しながら、山居倉庫を拠点として全体を考えながら、お金を産みだしていきたいと考えている。
清野委員	ケヤキのほかに新井田川沿いのマツはどのようにとらえているのか。
事務局：川島	樹木に関しては構成文化財として適正に管理していくことにしている。
清野委員	どういう経緯で植えられたのかを含めて、調べておく必要があると考える。
清野委員	このほかにご意見なければ次に進みます。

(2) 山居倉庫の保存・活用の大綱（案）と基本方針（案）について

事務局：川島	事務局より資料説明。
清野委員	保存活用計画と大綱・基本方針の位置づけはどうなるのか？
事務局：川島	保存活用計画を作成する上での将来像として位置付けている。
池田教育次長	保存活用計画策定の審議において、大綱・基本方針の案を示し、協議を進める中でご意見をいただき、修正していきたい。
清野委員	大綱案があって、保存活用計画があるということになるのか。
事務局：川島	大綱・基本方針を保存活用計画の項目として示すことになっている。
平山委員	防災・災害に関する事項が基本方針に示されていない。史跡の防災をどう捉えるのか、基本方針にも示す必要がある。大綱と基本方針がある程度対応するように。
事務局：川島	擦り合わせして次回お示ししたい。
清野委員	ということは、保存活用計画の中で防災について定めるということになるのか。
事務局：川島	保存活用計画で防災について付け加える必要があると考えている。
崎谷委員	大綱の最初の文で、「保存」という言葉しかない。「活用を図る」という言葉も入れた方が良い。また、大綱の最後の文章がやや弱い。言葉を洗練してより市民に訴える内容にするべき。 最後から2つ目、行政としての組織のあり方と、行政と市民の組織のあり方は明確に分けて示すべき。まず、行政としての姿勢を示し、市民・民間への協力を仰ぐとすること。
事務局：川島	頂いたご意見を参考に、大綱の方を再度修正したい。
清野委員	大綱（案）と基本方針（案）はご意見を頂いたように修正を加え、今後変わってくると思うので、その都度俎上に上がるような格好にして頂ければ

	と考える。
--	-------

## 6 その他

清野委員	このほか、全体として意見などがあれば。
一同	とくになし。
清野委員	協議議題については、固まったようなので、終了させて頂きたい。議事進行を事務局に返したい。

## 7 閉会

事務局：阿部	長時間にわたりご審議ありがとうございました。 これをもちまして、第2回酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会を終了させていただきます。本日はご参会誠にありがとうございました。
--------	---